

# 長時間労働削減の工夫に関して

日立AP清水事業所  
と関連会社で働く  
人のネットワーク



# オアシス

2009年10月

No. 23

発行：オアシス

編集委員会

連絡先：多田義幸

TEL

090-9121-0602

## 長時間労働の 削減対策

今年の2月以降、長時間残業に規制がかかるようになりました。しかし、相変わらず人員不足の職場が多くあり、抜本的な対策が求められます。

### 業務計画に要員数・ 労働時間の考慮を

本来、業務というものは、業務量 $\parallel$ 要員数 $\times$ 労働時間の関係で決定する必要があるあります。しかし、現状では、過大な業務量を少ない人数でこなしている例が見られます。そこで、労働時間を定時までとして、業務量に見合った要員確保を行うべきです。

### 残業時間の 規制と管理の徹底

本来、労働時間管理は、それぞれの職場の管理者が責任を持って管理するべきです。しかし、現状では、個々人の判断に委ねられており、業務をこなすために長時間残業に陥っている面が否めません。残業時間の上限を厳しくチェックして、業務内容の調整を図るべきです。

## 2009年 日立アプライアンス 労組定期大会での 質問と回答

各月の最高残業時間は？  
約200時間

残業時間40h/月を超える人数は？  
1,750名(全体の3割)  
残業時間80h/月を超える人数は？  
320名(6%)  
(各月ともほぼ同じ)

精神疾患休業者数は？  
月俸者含め 月平均22名

(2009/1~3)

2007年度 22名  
2008年度 17名

処遇制度の調整給受給者数は？

7月現在受給者249名(協定非組合)  
昨年283名から34名減少  
10月以降232名の見込み、  
調整給平均額14,194円(7月現在)

派遣社員の人数は？

6/末 1,550名、  
製造派遣 1,000名、  
その他 550名

過去1年間に派遣から日立アプライアンスの正社員になった人数は？  
2008/8以降 20名